



会員のみなさん、こんにちは。

11月8日～14日の1週間は「全国糖尿病週間」でした。岐阜城をはじめとする、岐阜県内の各名所が糖尿病啓発運動のシンボルカラーであるブルーにライトアップされておりましたが、ご覧になられたでしょうか。当院でも糖尿病予防・治療・療養についての展示を行い、多くの方に来院いただきました。また今年はつかさ会としては初めてオンライン総会・講演会を行いました。スマートフォンやパソコンを使用しての聴講は慣れないと敷居が高いかもしれませんが、自宅からでも参加できる手段として、今後チャレンジしていただけると、楽しみが広がるかと思えます。

今回の「さかえ」のよみどころは、岐阜大学医学部附属病院 当科の樋口先生に紹介してもらいます。

つかさ会のみなさま、こんにちは。岐阜大学医学部附属病院 糖尿病代謝内科/免疫・内分泌内科の樋口です。今年もあと残すところわずかとなりましたが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルスの流行で我慢を強いられることが多い1年でしたが、来年には穏やかな日常が戻ることを願うばかりです。



さて、今月の「さかえ」の特集1は「がんに備える(p.7)」です。日本人の死因の第1位であり、約2人に1人ががんを患う現在、がんは糖尿病患者さんにおいても大変身近な病気となっています。本特集では糖尿病とがんの関連やがんの予防、もしも糖尿病患者さんががんになった場合の治療中の注意点などが解説されています。みなさまが知っておきたいがんの知識がわかりやすくまとめられています。

また、特集2は「重症低血糖に備える(p.34)」です。時に命に関わることのある重症低血糖について、普段から気をつけることや起こってしまった場合の対処法などが解説されています。低血糖のリスクのある糖尿病薬を使用中の患者さん及びその周りの方々にはぜひご一読いただきたい内容です。



それでは、今月も「さかえ」をお楽しみください。寒い日が続いておりますので、体調に気をつけて、健やかな新年を迎えられますようお祈り申し上げます。

